



つくるう いかそう 福井の道

道づくりの3つの進め方

3つのポイントを踏まえて道づくりを進めます!

はじめに

本県では、「福井元気宣言」に掲げている「元気な県土」を実現するため、環境問題・少子高齢化・地方分権といった社会情勢の変化や、公共事業に関する国の施策方針を踏まえて、新たに「道路の将来ビジョン」を策定しました。

このビジョンでは、「福井の道路を考える地方懇談会」からの提言を受けて

- 効率的、経済的な事業展開を図る
- 県民にわかりやすい指標による評価を行う
- 県民の意見を聞く取組みを進める

という3つの進め方と

「きづく・まもる・そだてる」

という3つの道づくりを掲げています。



舞鶴若狭自動車道 大飯高浜IC

①効率的、経済的な事業展開を図る

- 選択と集中やローカルルール*による早期完成
- 建設から維持管理までを含めた総費用の軽減
- 既存の道路(ストック)の維持管理の充実と有効活用

*ローカルルール:地域の実情に応じた、柔軟な規格運用

②県民にわかりやすい指標による評価を行う

- 事業前、事業中、完成後の評価
- 成果(アウトカム*)に着目した指標による評価

*アウトカム:社会に与える効果や、利用者の満足度

③県民の意見を聞く取組みを進める

- 積極的な広報・説明活動
- 県民の意見やニーズの把握

→ P3

福井元気宣言

I 元気な産業

- 経済対策の緊急発動
- ものづくり・新産業創出等
- 福井の豊かさを支える農林水産業

II 元気な社会

- 女性の元気が福井の元気
- 未来を託す人づくり
- 生き生きやさしい福井づくり

III 元気な県土

- 原子力は県民の立場に立って
- 福井は列島のまん中
-より近くより便利に

IV 元気な県政

- 新しい福井県政府の樹立
- 夢あるふるさとづくり

地域を **きづく** 道づくり

■国土・地域の再構築

地域を **まもる** 道づくり

■安全で安心な地域づくり

地域を **そだてる** 道づくり

■空間的価値の再生

元気な県土づくりの3つの「道づくり」のめざす

きづくとは...

- 大都市圏との交流の促進
- 県境を越えた連携の強化
- 地域間連携の強化
- 地域開発の支援

P5

まもるとは...

- 過疎・高齢化・多自然型居住への対応
- 複数ルート確保
- 耐雪力の向上
- 誰もが使いやすいデザインの採用

P7

そだてるとは...

- 公共交通機関との連携・支援
- 道路空間の利活用
- まちづくりとの連携・支援
- 観光資源の有効活用への支援
- 環境との調和

P9